

■FXで稼ぐにはどのぐらいの時間が必要なのか？

よく頂く質問ですし、気になる方も多いと思います。

「私を信じて、3ヶ月間努力すれば立派に稼げるトレーダーになれます」
こんな感じの具体的な期間や、
付いていけば稼げるようにしてくれるだろうという期待感や約束が欲しいと思うのですが、
逆に聞きたいです。以下の質問に答えられるでしょうか？

「何年修行すれば立派な寿司職人になれますか？」

「何年勉強すれば東大に入れますか？」

「運転免許は何ヶ月で取得出来ますか？」

明確な答えは出せません。
あえて回答するなら、「人それぞれ」ではないでしょうか。
更に考えるならば、

「立派な寿司職人になれたとして、お店を持てますか？月収100万稼げますか？」

「東大に入れたとして、大企業や官公庁に入れますか？」

「運転免許を取得したとして、事故を起こすことなく過ごせますか？」

これもまた「人それぞれ」という感じではないでしょうか。

寿司職人が10年以上修行しないと一人前になれないと言われる中、
「寿司修行3カ月でミシュランに載った理由」という本があるのですが、
飲食の学校で3ヶ月学んだ後、オープン11ヶ月でミシュラン掲載という
いわゆる「常識」では考えられないスピードで成功した方がいます。

運転免許にしたって、学生が夏休み合宿で一気にとってしまうのと、
忙しいサラリーマンの方が仕事の合間に学校に通うのでは意味合いが違ってきます。

■私に太陽光を教えてくれた青年の話

私が2箇所太陽光設備を所持しているのはすでにお伝えした通りですが、太陽光の節税システムや安定性を教えてくれたのは、「かつて、公認会計士を最年少で合格した青年」でした。（今は、最年少記録がどんどん塗り替えられているので、現在の最年少合格者ではありません）

「元々、親が商売をしていて数字にも馴染みがあったので〜！」と話していましたが、それぐらいの環境で育った人は何千人、何万人というはずです。

公認会計士は、説明するまでもなく超難関資格ですから、何年かかろうと、資格を取れる方はものすごく頭が良いか努力家なのでしょう。もちろん、10数年かけても合格出来ない方もたくさんいます。長年勉強したから合格出来るというものではない。

「その違いは何か？」

問われても説明出来ません。

元々の素養が違ったのか？教育が違ったのか？勉強方法が違ったのか？向き不向きがあったのか…？

そもそも、最年少で合格出来てしまうスーパーエリートと、10数年勉強を続けても合格出来ない人の違いは説明出来ません。

■ 「FX も人それぞれ」

本編でも書きましたが、投資世界と現実社会の経済圏は全く異なります。
私は喧嘩をしたくないですし、敵を作りたくないですし、穏やかに生きたいので、
誰かの気分を害する発言をしたくないのですが、

「苦しい思いをして、歯を食いしばってがんばれば勝てる
〇年間、チャートに向き合えば勝てるようになる」という根性論は大嫌いです。

- ・ 投資をスポーツか何かと勘違いしてるのか？
- ・ 投資を学校の勉強と同じだと考えてるのか？

**・ 苦しい思いをして一生懸命がんばれば成功出来ると考えるほど傲慢なことはない。
やるべき事をきちんとやる。努力の方向を間違えて努力しても意味はない。
努力の方向を間違えているのに、努力すれば成功出来るなど無責任かつおこがましい。**

投資に置いて、真面目にやれば報われる的な話しは否定します。
とはいえ、楽々稼げる的な話しも否定します。

「投資歴5年だから勝てるようになりました」なんて、
そんなバカな話しはないでしょう。投資歴だけ長ければ稼げる世界ではありません。

「社長歴10年なので、会社の利益はどんどん伸びてます！」という話しもないでしょう。

そもそも、歴なんて人によって密度が違いますし、
勉強の内容や経験の質も違うので比較出来ません。

「これ以上は下がらないだろう、ここで買いた〜！スマホポチポチ」
自分の経験や勘で取引して3年目のトレーダーと、

3ヶ月間、骨太な書籍を読み込み、基礎的な原則や理論を詰め込み、
「テーマを持って」過去検証を繰り返した人間とで、
どちらが安定して勝てるトレーダーになるか、比べようもありません。

**「〇年間苦しい思いをしてがんばれば勝てる」という保証があるなら、
それほど楽なことないでしょう。**

■しかしFXの場合には「正しい努力が正しい結果に結びつきやすく、何度失敗しても大丈夫」という「やるべき事を出来る人間」にとって非常に有利なシステムが用意されています。

起業でも受験でも、一度失敗すると大打撃をくらったり、長期間、再挑戦が出来なかったりしますが、FXはとてつもなく有利な条件でスタート出来ますし、リトライも簡単です。ある意味とても恵まれたビジネスなのです。

- 1 情報が揃っている
- 2 環境が整っている
- 3 打ち手がある程度限られているうえに、絶対の正解を出す必要がない
- 4 ぶっつけ本番がない
- 5 時間と空間を飛ばせる

一つ一つ見ていきましょう。

1 情報が揃っている

書籍や教材が豊富です。2000年代は詐欺的な教材も多かったのですが、2010年代以降は学べる環境が整い、有用な書籍も多いので、それだけで有利な状態からスタート出来ます。手探りで、経験しながらでしか体得出来ない市場で個人が成功するのはとても難しいことです。成功する為のノウハウがある程度確立された市場で勝負するほうが良いです。

2 環境が整っている

取引環境（ネットや取引システム）、取引手数料など、すでに成熟した市場なので、安価な手数料で安心して取引出来ます。海外口座を使い、本編で記載している資金管理法を使えば、借金の心配もないでしょう。

仮想通貨バブルが起こった時、環境（法律も取引システムも）が全く整っていなかったばかりに痛い目を見た方は大勢いたと思います。環境が整っているのは当たり前なようで素晴らしい事です。

3 打ち手がある程度限られているうえに、絶対の正解を出す必要がない

例えば、飲食店の場合には、どんな業態か、どこに出店するか、規模はどの程度か、宣伝はどうするか、考えるべきことはいくらでもあります、

FXは、見ているチャートや価格が全てです。

チャートに対して、ダウ理論やラインを当てはめたり、テクニカル指標を当てはめたりしますが、有効（と思われる指標）は、それほど多くありません。

チャートに対して何をすればいいのか、ある程度限られた中から打ち手を選んで実行していくので、一般的なビジネスより迷いが少ないのも特徴です。

※ファンダメンタルも考えてトレード出来るならそれは素晴らしいことですが、デイトレのスパンだと、経済指標に気を付けていればチャートだけで十分勝負出来ます。

また、1回1回のトレードで、55%から60%程度の正解を出せば十分に生活出来ます。（トレードロジックによっては勝率20%でも利益が出ます）

4 ぶっつけ本番がない

受験も起業も一発勝負で失敗すれば再起に時間がかかりますが、FXは、デモ口座でいくらでも練習出来ますから、不安があれば実践トレードをしなければいいだけです。

リアル社会では、「失敗したから今の無しで！」が出来ませんが、FXでは思う存分いくらでも失敗出来ます。すごいメリットではないでしょうか。

デモ口座で失敗して失敗して、「上手く出来るようになったら本番！」こんな都合のいい事、現実社会ではさせてもらえません。

いくら失敗してもノーリスク。上手く出来るようになったら本番。あまりに都合のいいビジネスです。

（私は、FXを投資というよりビジネスと捉えています）

5 時間と空間を飛ばせる

恐らく、これが一番のメリットではないでしょうか。

FXは、過去チャートが見られますから、
自分が思い付いたロジックが機能するかどうか、簡単に検証出来ます。
それこそ、1日で5年分の検証が出来てしまいます。
少々乱暴な言い方ですが、5年の経験を1日で出来てしまうのです。
現実では10年の寿司修行を2日で終えることは出来ません。

**「過去検証が出来て、デモ口座で自由に失敗出来て、
自信が付いたらリアルトレードをどうぞ」という
現実社会では考えられないほどありがたいビジネスです。**

また、ネット環境さえあれば、
都心だろうと田舎だろうと、山奥だろうと離島だろうと、海外だろうと
取引環境は平等に与えてもらえますから、空間に縛られることもありません。

仕事がない地域でも、全く問題なく暮らせます。
「時間も空間も飛ばせる」ビジネスは強いです。

以上、FXはそもそも他のビジネスや一般社会の仕組みと成り立ちが違うので、
普通に起業するよりも、成功しやすい要素が揃っていると言えます。

一般的に、FXは危険というイメージがありますが、
ビジネス的に見れば、ものすごく有利な仕組みが揃っています。

どう捉えるかは人それぞれですが、銀行からお金を借りて一度失敗するだけで
再起が困難になる「いわゆる一般的な起業」と、
実際には破産するのが難しいのに、
世間的には一夜にして借金まみれになると思われているFX。
どちらが稼ぎやすいでしょう？

■ 19歳の少年が2週間の研修を受けた結果、4年で3000万ドルを稼ぎ出す

本編でも紹介した、「タートル流投資の魔術」の紹介文です。

Amazon から一部抜粋します。

彼らは、トレーダーを育成することは可能か否かという賭けをするため、主要新聞に全面広告を打って大々的な募集をおこない、トレーダー養成塾「タートルズ」を作った。タートルたちは、わずか2週間の研修プログラムを終えると、それぞれ100万ドルの口座を任せられ、市場に参戦した。そして、ほとんどのメンバーが未経験だったにもかかわらず、次々と巨額の利益をあげ、業界に旋風を巻き起こした。相場は正しい訓練により成功できることが証明されたのだ。

カリスマ・トレーダー、リチャード・デニスとウィリアム・エックハートが教育した常勝投資軍団「タートルズ」。
ほとんどのメンバーが未経験だったにもかかわらず、わずか2週間の研修プログラムによって、マーケットで次々と巨額の利益をあげていった。当時19歳の最年少タートルだった著者も、わずか4年で3000万ドルを稼ぎ出す。

この話しはインターネットが普及する遥か昔の話しですから、注文は電話でしていたそうです。

情報も揃っていない、環境も整っていない時代でたった2週間の研修ですよ。とてつもないですね。

さすがにこの話しと比べることは出来ませんが、今や過去のチャートもテクニカル指標もコンピューターがパッと出してくれる時代で、情報も揃って、思う存分失敗も出来るこの時代で何年もかけないと稼げないというのは、その間、一体何をやっているのか？という話しになりませんか？

投資は、何を勉強したのか？どうやって勉強したのか？が重要であって、投資歴は大した問題ではありません。

投資歴で勝てるなら、世の中のトレーダーは皆勝っているでしょう。

真摯に勉強し相場と向き合えば投資歴が1ヶ月や2ヶ月でも、
何となくやってきた投資歴5年のトレーダーを簡単に追い越せます。

嘘だと思うなら、投資歴が長いのにパツとしない人に話を聞いてみるといいです。
「雑誌を見てこう思った」「自分はこう思った」など、
客観性のない情報を主体に取引しています。株でもFXでも投資信託でも不動産でも。

結論として、

- ・投資歴〇年以上のトレーダーが全員勝っているという事実はありません
- ・〇年勉強したから絶対に東大に入れるという保証はありません
- ・〇年不動産投資を勉強しても、銀行が融資してくれる保証はありません。
- ・ドライバー歴〇年だから絶対に事故を起こさないという保証はありません。、
- ・〇年ビジネスを勉強したから年収1億になれる保証もありません。

歴などほとんど意味を持ちません。

勝てる勉強をする人は勝てるし、何の勉強もせず勘や思い込みでトレードする人は、
一時期すごい成績を出してもすぐにダメになってしまいます。

何の面白みもなく普通の結論ですが、投資は勉強したことが結果に出やすいので、
普通のことを普通に勉強して実践すれば、まず負け越す可能性は低いでしょう。
勉強しても負けるのは、勉強している内容が間違っているからです。

筋肉を付けたいのに、座学で筋トレの本ばかり読んでも筋肉が付かないのと同じです。
結果に繋がる努力と勉強をするから結果が出るのです。

ですから、なぜ稼げたのかをロジカルに解明して再現性を高めていく。
それが教材なのではないかと思います。

結論として、人によって成功のスピードは違いますが、
正しい努力が、正しい結果に結びつきやすいのが投資ではないでしょうか。